

□□□■□■□■ * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * --
□□■□■□□■□
□■□■□□■□ ALT TECHNICAL News No.200 February 2020
■□■□■□■□ * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * -- * --

おかげさまでメールマガジンも記念すべき第 200 回を迎えることができました。
支えて頂きました皆様に厚く御礼を申し上げます。
この場をお借りして弊社代表取締役 高野よりご挨拶させていただきます。

(上村)

本メールマガジンも17年を経て200号を迎えることができました。
また当社も創業28年を迎えることなり、これも皆様のおかげと感謝しております。

100号の時に光産業技術振興協会(OITDA)の光産業動向調査を引用して光産業の発展と変遷をご報告しましたが昨年の調査では国内生産額は8兆円と総額は10年ほど大きく変わっておりません。
ただ内容としてはディスプレイやプリンターが減る中でレーザー加工やセンシングが伸びております。
また面発光レーザーや SiPM(MPPC)や高ダイナミックレンジのカメラなど量産され始めた新しいデバイスも出てきてます。

当社もこのような環境のなか皆様のご期待に沿えるように変革して参りますので今後とも宜しく願いいたします。

(代表取締役 高野 裕)

光産業動向調査2018年度版

<http://www.oitda.or.jp/main/press/prdct18-01.pdf>

▼INDEX▼

【技術関連情報】	・グリーン調達
【関連製品紹介】	・受託開発
【お知らせ】	・ホームページのサテライトサイトのリニューアル

■技術関連情報■

グリーン調達

グリーン調達とは一般にメーカーが原材料などを購入する際に、環境負荷の少ない物品を優先して調達したり、そのような配慮をしているメーカーから優先して調達する事を言います。

また、環境マネジメント規格であるISO14001の認証を取得した企業から優先して調達することも、グリーン調達の一環と言えます。

簡単に言うと環境管理システム、使用禁止物質などの管理、の2点が整備されているメーカーから資材・部品を調達する。

EU連合における電気・電子機器に含まれるRoHs特定有害物質の使用制限に関しても、4種の重金属(カドミウム、鉛、水銀、クロム(VI))およびポリ臭素化ビフェニール(PBB)、ポリ臭素化ジフェニルエーテル(PBDE)に加え、2019年7月からは、家電製品や通信関連機器などに対してフタル酸エステル類4物質(DEHP、BBP、DBP、DIBP)の計10物質の使用が制限されることに改正されています。

部品や材料の調達段階において自社製品に規制有害物質が混入することを避ける為の化学物質管理にかかる自主調達基準が強化され、大手メーカーではそれぞれ「グリーン調達基準」を作成して取組みを進めています。

国の環境問題の推進より生産者側は環境に配慮した製品を作り、消費者側はできる限り環境に優しい製品の購入を心掛けたい心理が今後も浸透していくと言えます。

弊社でも安心・安全の製品を心掛けており、お客様の要望にご対応致します。

グリーン調達・購入の取組みしている大手企業

https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/jirei_db/TJD005.html

ISO14001(環境マネジメント)

https://www.jqa.jp/service_list/management/service/iso14001/

(富樫)

■ 関連製品情報 ■

受託開発

弊社では、技術関連情報でご紹介した、色々なセンサを用いてお客様のご要望にお答えしております。

お困りの案件がございましたら是非お気軽にお問い合わせ下さい。

▼ 受託開発 カタログ ▼

<http://www.alt.co.jp/library/56dfed769c98d49d5429c310/5c258d67ea56a2050faafd7a.pdf>

